

## 北九州市の特別支援教育に関する調査 (特別支援教育コーディネーター向け)

### 結果まとめ

**調査の目的：** 障害のある子どもたちへの指導・支援の充実を検討する上での参考とするため、各校の特別支援教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）を対象とした調査を行い、その結果を踏まえて今後の特別支援教育の在り方を検討するもの。

**調査対象：** 北九州市立幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校のコーディネーター

**調査期間：** 平成27年10月6日～平成27年10月20日

**調査項目：** 7項目

**実施方法：** 学校を通じて調査票を配付

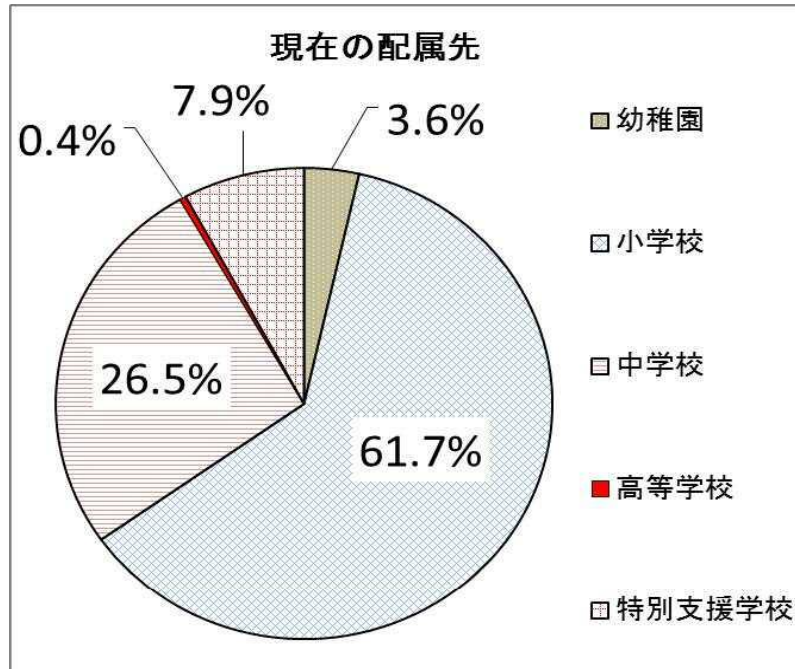
**有効回収率：** 75.7%（有効回収数253／対象者数334）

※ 母数の「対象者数」は、平成27年度当初にコーディネーターに指名された者の合計を指す。

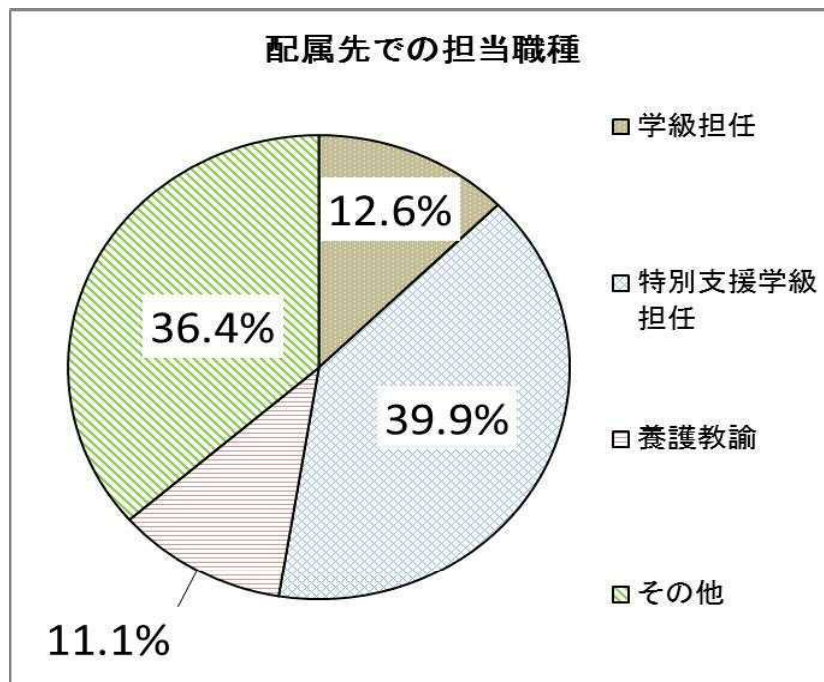
**調査担当課：** 北九州市教育委員会特別支援教育課（582-2367）

# 調査結果一覧

## 1. 現在の配属先 ※回答数 253 件

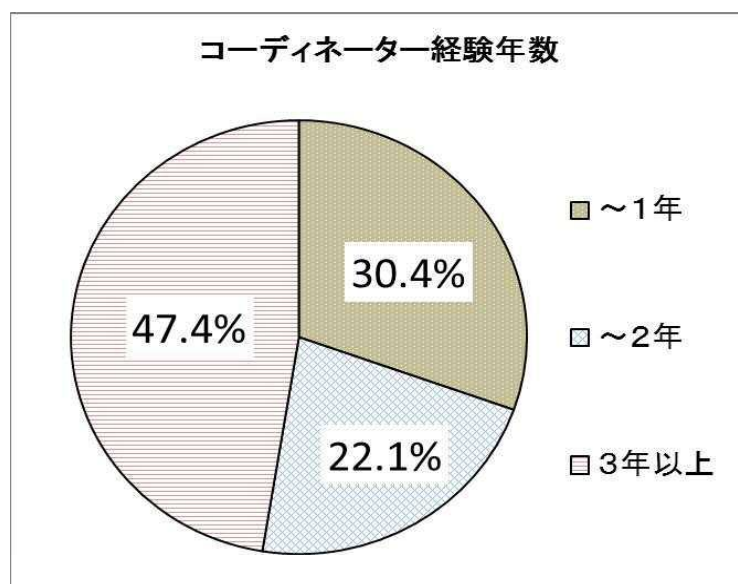


## 2. 配属先での担当職種 ※回答数 253 件

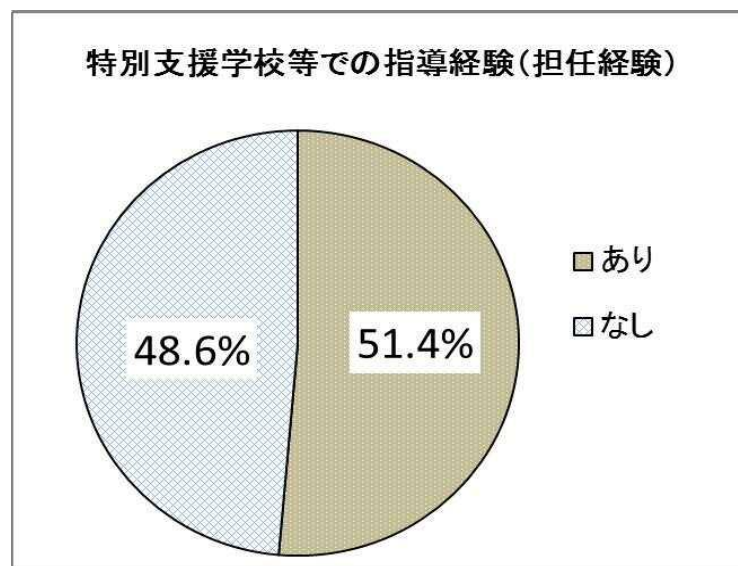


※「その他」の主な内訳： 教務主任、通級担当、主幹教諭など

3. コーディネーター経験年数（通算） ※回答数 253 件



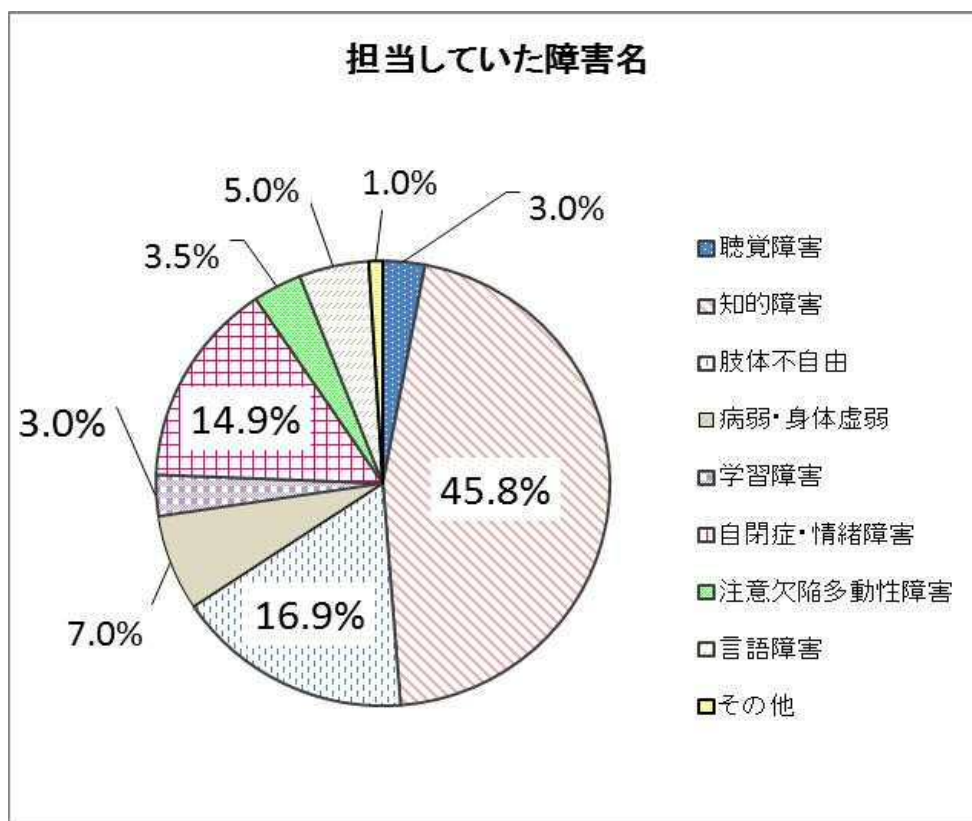
4. 特別支援学校、特別支援学級あるいは通級指導教室での指導経験（担任経験）の有無 ※回答数 253 件



現在の学校の特別支援教育コーディネーターになる前に、特別支援学校等での指導経験（担任経験）がなかった者は48.6%で、養護教諭や主幹教諭、教務主任がその大半を占めている。

**(経験ありの場合) 担当していた障害名**

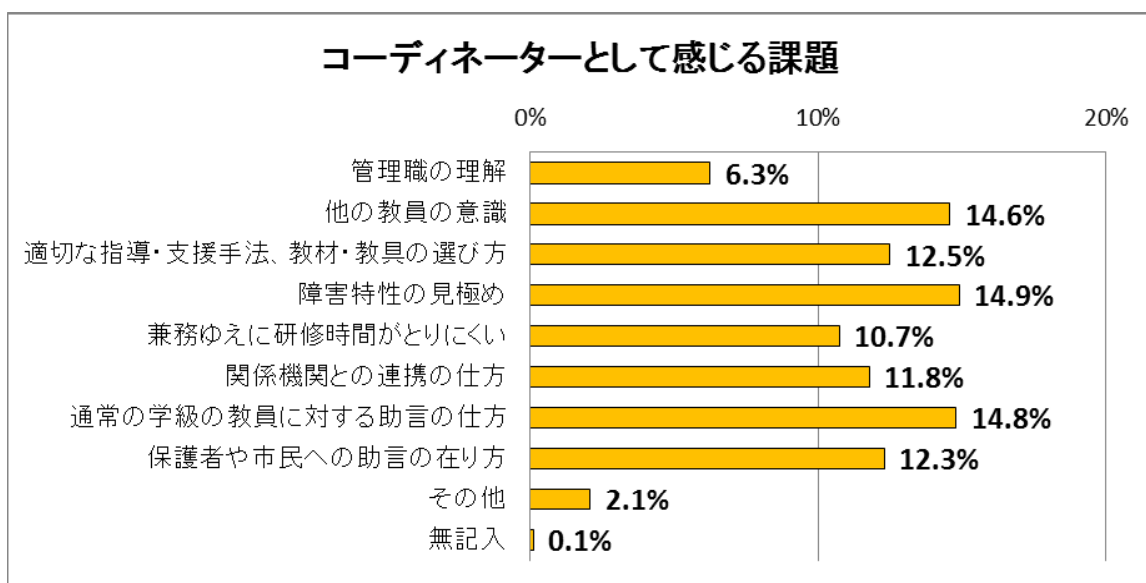
※回答数 201 件 (複数回答あり)



※「その他」の内訳: 「ダウン症」、障害名と無関係の記載

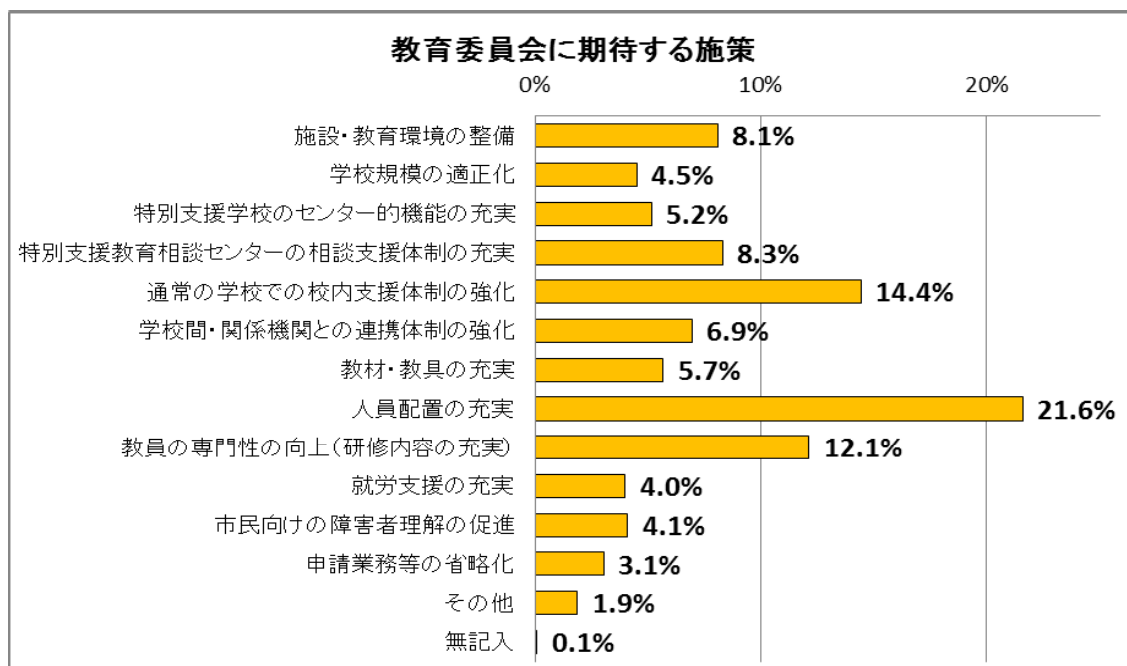
**5. コーディネーターとして感じる課題**

※回答数 960 件 (複数回答あり・無記入含む)



## 6. 教育委員会に期待する施策

※回答数 950 件（複数回答あり・無記入含む）



コーディネーターが教育委員会に期待する施策としては、「人員配置の充実」が最も多く、21.6%であった。「通常の学校での校内支援体制の強化」や「教員の専門性の向上（研修内容の充実）」についても比較的高い割合となっている。

## 7. 自由意見

- よりきめ細かな指導・支援を行うことができるよう、人員配置の一層の充実
- 教員の専門性や経験等を踏まえた人員配置
- 特別支援教育コーディネーターの専任化
- 特別支援学級や通級指導教室の設置の推進
- 特別支援学級や通級指導教室の設置数を増やすよりも、対応できる人材増の方が必要
- 各学校の管理職や教職員の特別支援教育に対する考え方や研修内容などを統一する必要性
- 管理職や通常の学級の教員等に対する研修内容の充実
- 専門性は高めたいが、様々な業務があり、時間の確保が困難
- 指導や支援に当たって悩むことも多いので、特別支援教育の専門家やスクールカウンセラーなどに相談しやすい体制づくり、巡回頻度の増加
- 相談機関などがたくさんあることにより、何を、どこに相談したらいいのかがわかりにくい。市の関係機関をもっと分かりやすい枠組みに変えてほしい。
- 教科教育の充実、基礎学力向上、分かる授業の工夫を目指すという点では、指導第一課と特別支援教育課との連携が有効ではないか。

## 北九州市の特別支援教育に関する調査 (特別支援教育コーディネーター向け)

**設問 1.** 現在の配属先について、該当する学校種の番号を赤色で塗りつぶしてください。

|      |      |      |       |         |
|------|------|------|-------|---------|
| ①幼稚園 | ②小学校 | ③中学校 | ④高等学校 | ⑤特別支援学校 |
|------|------|------|-------|---------|

**設問 2.** あなたの担当職種に該当する選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください。

|     |         |       |           |       |          |
|-----|---------|-------|-----------|-------|----------|
| ①校長 | ②教頭・副校長 | ③学級担任 | ④特別支援学級担任 | ⑤養護教諭 | ⑥その他 ( ) |
|-----|---------|-------|-----------|-------|----------|

**設問 3.** 特別支援教育コーディネーターになって通算何年目ですか。該当する選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください。

|      |      |       |
|------|------|-------|
| ①～1年 | ②～2年 | ③3年以上 |
|------|------|-------|

**設問 4.** 現在の学校の特別支援教育コーディネーターになる前に、特別支援学校、特別支援学級あるいは通級指導教室での指導を担当したことがありますか。該当する選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください。「①はい」と回答された場合には、括弧内に担当した障害種を記載してください。

|                 |      |
|-----------------|------|
| ①はい (担当した障害種: ) | ②いいえ |
|-----------------|------|

**設問 5.** 特別支援教育コーディネーターとしての役割を果たす上で、課題であると感じていることについて、該当の選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください (複数回答可)。「⑨その他」を選んだ場合には、括弧内に簡潔に記載してください。

### 【校内組織 (体制) に関するもの】

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ①特別支援教育に対する管理職の理解 | ②特別支援教育に対する他の教員の意識 |
|-------------------|--------------------|

### 【コーディネーターとしての役割に関係するもの】

|                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| ③適切な指導・支援手法や教材・教具の選び方     | ④子どもの障害特性の見極め     |
| ⑤兼務なので専門性を高めるための研修時間がとれない | ⑥関係機関との連携の仕方      |
| ⑦通常の学級の教員への助言の仕方          | ⑧保護者や市民に対する助言の在り方 |
| ⑨その他 ( )                  |                   |

**設問 6.** 今後、本市が特別支援教育を推進する上で、また設問 5. で回答されたような課題を解決するために、教育委員会が今後どのような点に留意して施策を展開することを期待しますか。該当の選択肢の番号を赤色で塗りつぶしてください (複数回答可)。「⑬その他」を選んだ場合には、括弧内に簡潔に記載してください。

|  |                     |                    |
|--|---------------------|--------------------|
| ①施設・教育環境の整備                                | ②学校規模の適正化           | ③特別支援学校のセンター的機能の充実 |
| ④特別支援教育相談センターの相談支援体制の充実                    | ⑤通常の学校における校内支援体制の強化 |                    |
| ⑥学校間・関係機関との連携体制の強化<br>(「個別の教育支援計画」の作成・活用等) | ⑦教材・教具の充実           | ⑧人員配置の充実           |
| ⑨教員の専門性の向上 (研修内容の充実)                       | ⑩就労支援の充実            | ⑪市民向けの障害者理解の促進     |
| ⑫申請事務等の省略化 ( )                             |                     | ⑬その他 ( )           |

**設問 7.** 本市の特別支援教育に関して、ご意見等がございましたらご記載ください。

ご協力ありがとうございました。